

道の駅

よしおか 温泉

基本設計が完了しました!

設計の概要を お知らせします。

道の駅「よしおか温泉」は、前橋・渋川バイパス（国道17号線）の開通に合わせオーブンを目指して計画を進めています。

場所は「よしおか温泉リバートピア吉岡」や利根川河川敷公園に隣接し、平成22年4月に開通が予定されている「前橋・渋川バイパス」にも接する交通アクセスが大変よいところであり、多くの皆さんに利用されるものと思っています。

道の駅は本来、道路利用者の休息とその地域の伝統や文化の紹介など情報の発信源となる施設ですが、道の駅「よしおか温泉」は、

本来の目的に併せて町で栽培されている農産物や、加工した特産物の販売をする物産館を併設し、道路利用者以外の皆さんの利用も考慮し、温泉棟や各種ゴルフ場のクラブハウスなどの既存建物や施設とバランスを考えた計画を進めています。

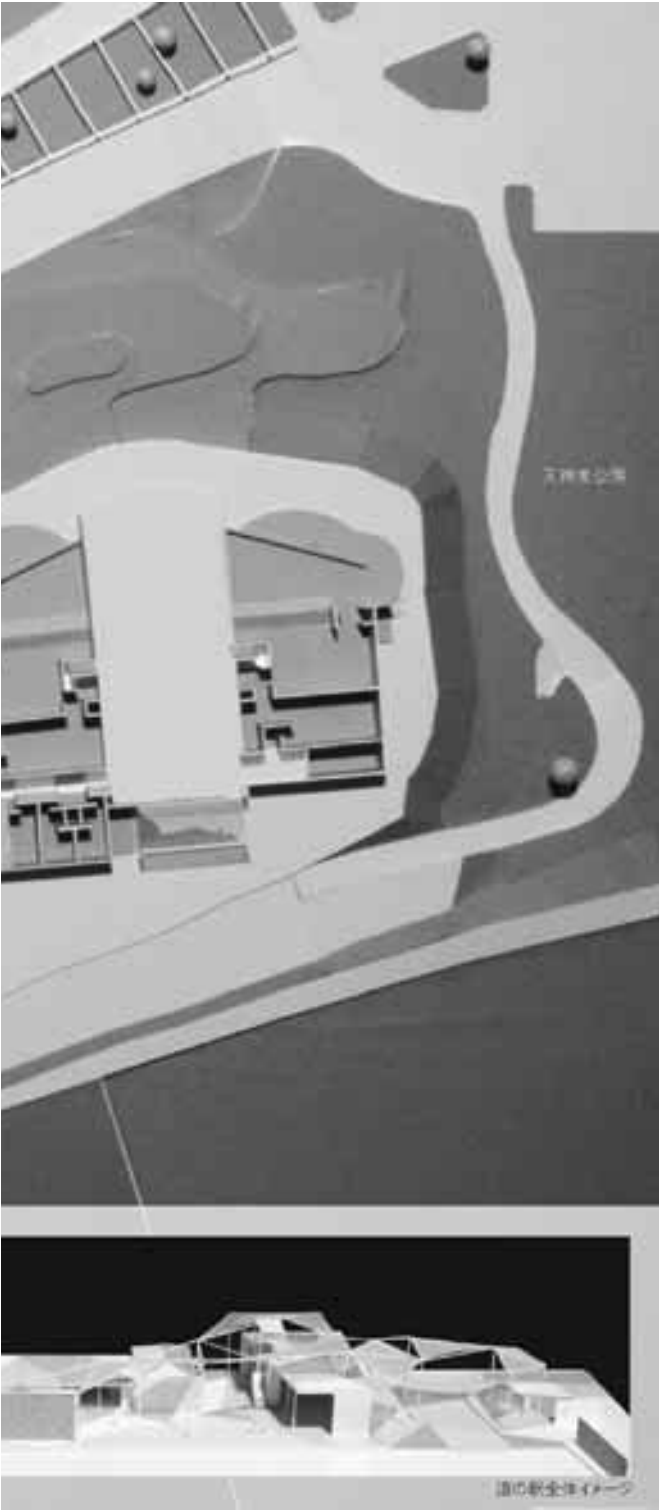
既存の施設にも新しい価値や機能を見出し新築する施設とともに、遠方から訪れる人はもちろん、地元の人にとっても魅力的な道の駅となるような計画を目指しています。

コンセプトは、用途や年代の異なる既存建物の中に新築建物を計画するにあたり、まず基壇状の「ステージ」を設定し、建物の上部には建物をつなぐ「ルーフ」を設けて、1つの風景をつくることとしています。

なお、道の駅「よしおか温泉」は、以降の点に主眼を置き計画を進めています。

○それぞれの既存建物を効率的・有効に活用しながら、最小限の工事で最大限の効果を発揮するように新築建物などを計画し一つの大きな道の駅とする。

○現在、単独で利用されているそれぞれの施設を、道の駅



建設中の前橋・渋川バイパス（国道17号線）

Road Side Station Yoshioka Hot Spring



というひとつのプログラムとしてとらえ直し、その使われ方を再構築することで、完成後には施設間で連携のとれた運営が期待できる。

○一連の建物群を正面からだけでなく、バイパス側から見たときにも一つの風景をつくるよう「ルーフ」と「ステージ」を設けて、一つの風景をつくる。

道の駅「よしおか温泉」の将来構想として、河川敷のサイクリングロードには、果樹園・自転車の道の駅を整備し、天神東公園とともに「吉岡町の玄関口」「人々の交流点」として、より広域に再整備することも考えています。

▼問合せ先

役場産業建設課産業振興室

☎ 54・3111 (内線167)